

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	地域農産物等の海外輸出チャレンジ事業	会計	一般会計	事業No.	405	施策順No.	13-003
		事業種別	政策・重点	予算科目	6-1-4-34-4		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	課等名			農業課		
施策	13 地域内産業の多様な連携	事業期間	開始	18	終了	22	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	チャレンジ意欲を持った農産物及び地場産品の生産販売事業者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		果実関係の農協	2	2	2	2	2		
意図		農産物の輸出販売ルートを開拓してもらう							
対象をどう変えるか		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		輸出入販売対象国(地域)	2	2	2	2	2		A
		当該事業関連で輸出入販売された商品数	6	7	6	6	6		
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	拡大が期待される上海、杭州での取り組みを着実に進めることができた。また香港では、販路開拓につながる取り組みができた。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	東アジア地域を対象に果実を中心とした農産物の産地メットが確保できる輸出入販売ルートの開拓と継続性のある輸出入販売環境づくりを進める。重点輸出先は台湾であるが、将来的なマーケットとして有力な中国(上海)への輸出入販売チャレンジも併せて取り組む。 1. 上海輸出チャレンジ …… 南信州フェアの開催、梨・りんごの輸出入販売ルートの開拓活動 2. 台湾輸出促進 …… 南信州 市田柿フェアの開催、桃・梨・りんご・市田柿のブランド推進PRと販売拡大支援活動		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 中国チャレンジ (1)「南信州 りんご上海フェア」の開催(12月) (2)「南信州 りんご杭州フェア」の開催(12月) (3)りんご、梨の輸出入販売支援 2 香港チャレンジ (1)香港美食商談会2010参加(10月) (2)レセプションでの果実・食品PR (3)現地マーケットリサーチ (4)りんご、梨の輸出入販売支援	1(1)フェア開催 (2)フェア開催 (3)年間輸出品目数 2(1)商談数 (2)アイテム数 (3)リサーチ数	1(1)2店舗 3日 (2)4店舗 3日 (3)2品目 2(1)8回 (2)10アイテム (3)1回
23年度実施計画			

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		912	899		
		計 (A)		912	899	0	
		正規職員所要時間			200		
		臨時職員等所要時間					
		人件費計(B)			715		
		トータルコスト A+B			1,614		

4 事業に対する市民や議会の意見

<p>&lt;農家の声&gt;・市田柿が世界にも通ずるブランド食品であることは生産の励みになる。 &lt;チャレンジ事業者の声&gt;・農産物は安値大量販売や余剰品販売の動きがブランドづくりや価格相場を崩すことになるため、特に市田柿と南水の輸出入販売戦略を地域内事業者が共有化する必要がある。 &lt;基本構想基本計画推進委員会&gt;・市田柿の従来製法による製品を第2ブランドとして立ち上げるなど、地域全体の収入を上げるための策を考えていくことも大切である。</p>
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域内産業が、多様な連携により新たな経済活動を創出する	施策の成果指標又はムトス指標	海外チャレンジ事業関連の輸出数量(t)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	国内マーケットが縮小傾向にある中で有利に販売できる新規マーケットを開拓し外貨を獲得していくことは、農産物販売額ひいては農業生産額の拡大をもたらし、経済的自立度アップ、経済力の強いまちづくりに結びつく取り組みである。		
	後期に向けた課題			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	台湾での人的ネットワークの活用など、農産物輸出に必要な情報収集チャネルを確保し、情報をもとに販路拡大を進めた。また、輸出販売ノウハウの蓄積により、マーケットへのチャレンジが可能となった。		
	後期に向けた課題			
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	販路開拓に結びつかないフェアなどの取り組みは行わず、効果的なりサーチや商談会等への参加、開拓した販路拡充のための販促活動など効果的な事業の組み立てによりコストの低減を図った。財政支援に頼らない輸出販売の仕組みづくり目指しており、販路確保できた取り組みは、事業者へ移行している。		
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	海外への販路開拓は、リスクを伴い、初期段階では地域連携体制を組んで試行チャレンジする手法が有効。地域連携体制作りのコーディネート役として市が関与する。なお販路確保できた台湾輸出促進は民間主導の取り組みに移行した。受益者は最終的には生産農家であり、商取引に関する経費は連携事業者が負担している。		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①主体は農協等であり多方面への販路拡大に取り組んでいる ②海外への販路開拓は、大きなリスクを伴い、初期段階では地域連携体制を組んで試行チャレンジする手法が有効である。市は、現地サポーターの発掘と人脈づくり、信頼できる輸出販売ルートの情報収集、商談支援(前協議やルート確立までの間)、認知度を高めるための販促PR活動支援を行う。		
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	南信州産果実の認知度の向上により恒常的な販売ルートの開拓ができた。このことが、国内における高付加価値販売へつながった。また、農産物輸出に必要な情報収集チャネルが確保されるとともに、輸出販売ノウハウの蓄積により、他マーケットへのチャレンジが可能となった。		
	後期に向けた課題			

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------